

INDEX

1 社会学部の取り組みを紹介

学部・研究科のFD活動を紹介するシリーズの第三弾。今回は、社会学部の取り組みをご紹介します。

2 「学生が選ぶベストティーチャー賞」企画・実行委員の募集について

「学生が選ぶベストティーチャー賞」を実施することとなり、企画・実行を行う学生スタッフを募集しています。

3 授業で利用可能なガイダンス

ゼミなどを単位として行っている学内のガイダンスをピックアップしてご紹介します。是非お役立てください。

発行：

法政大学
教育開発支援機構
FD推進センター

ホームページ

<http://www.hoseiyoiku.jp/fd/>

問い合わせ先

fd-jimu@hosei.ac.jp

学部・研究科の取り組み掲載のご要望、承ります。

1 社会学部の取り組みを紹介！

第3号では、社会学部の取り組みをご紹介します。

社会学部の教育改善の歴史は古く、「FD」という概念が日本で一般化する前から、他に先駆けて積極的な取り組みが行われてきました。ここでは近年の取り組みの一端をご紹介します。

学部FD委員会

社会学部では、2003年に学部FD委員会を設置し、組織的・継続的にFDへの取り組みを行っています。

学部FD委員会では、学部のFDに関わる様々な事柄を審議するほか、実験的授業の実施や、基礎演習及び専門演習における担当者間の情報交換や演習成果公開の促進、学部研究発表会等の学生主催の行事と同時並行的に進めるオリエンテーション等の教員主催の行事とのコラボレーション等、学部のFDに関わる様々な活動を、年度を通じて行っています。



▲学部研究発表会

実験的授業

実験的授業は、学部FD委員会が2005年から行っている企画提案方式の授業です。近年では、大学設置基準の変更(社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うための体制)＝いわゆるキャリアガイダンスの制度化の要請にこたえる形で、2011年度からの2年間にわたって、複数の教員の提案による特講「社会を変えるための実践論」が実施されました。この科目の成果は、2013年度に学部全体で共有され、新しい正規科目として実を結びました。



▲FD委員会報告書

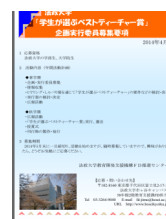
社会学部では、学部FD委員会の年間の活動・成果を、毎年『FD委員会報告書』という形でとりまとめて冊子にして発行しています。

また、社会学部のFD活動については、『大学を変える、学生が変わる 学生FDガイドブック』(2012年ナカニシヤ出版)にも、その一端が紹介されています。詳細は、そちらをご参照ください。

2 「学生が選ぶベストティーチャー賞」企画・実行委員の募集

この度「学生が選ぶベストティーチャー賞」を実施することとなり、企画・実行を行う学生スタッフを募集しています。2014年度秋学期の実施にむけて、学生による活動を始めていきます。詳細は、こちらに掲載しています。

<http://www.hoseiyoiku.jp/fd/index.html>



3 授業で利用可能なガイダンス

ゼミなどを単位として開催しているガイダンスをご紹介します。是非、お役立てください。

キャリアセンター主催 ゼミ別出張就職ガイダンス (市ケ谷・多摩)

これから就職活動にのぞむ学生に対し、採用の現状や今からできる対策などをお伝えします。基本的には講義形式で進めますが、時間があればワークを取り入れ、最後に質疑応答の時間を設けます。

- 1 **対象:**主に就活生(3年生)ですが、同じゼミの2・3年生合同で実施することも多くあります。
※興味があれば、それ以外の学年でも可。



- 2 **実施時間帯:**ご希望にできるだけ沿います。
- 3 **実施場所:**ゼミ等で利用している教室にお伺いします。
※キャリアセンターでは、場所の確保をいたしませんので、ご了承願います。
- 4 **申込方法:**各キャンパスのキャリアセンターへご連絡ください。
市ケ谷: 学部名、先生の氏名、希望日時、実施場所、連絡先、参加学年と人数、要望(もしあれば)を明記のうえ、メールにてお申込みください。
市ケ谷事務課 ishu@hosei.ac.jp (03-3264-9604)
多摩: ゼミの担当教員から直接お申込みください。
電話でも結構です。**多摩事務課 042-783-2173**
- 5 **申込締切期日:**実施時期についてはご相談願います。
市ケ谷: 現行の就職活動のスケジュールでは、10月~12月実施がほとんどです。
多摩: 秋学期に行事が多く、早めに情報を知っておきたいという要望から、春学期の依頼がほとんどです。

- 6 **過去に行った例:**
- ・2つのゼミで合同開催した例もあります。
 - ・時間は60~90分程度が理想です。
 - ・要望があれば、できる限り対応します。
(例: ゼミ生に厳しい現状を伝えてほしい、企業研究や業界研究を重点的に…など)
 - ・事前にゼミ生の質問事項をとりまとめてもらいその質問に答えていただく形式をとることもあります。

図書館主催 情報リテラシー教育ガイダンス (市ケ谷・多摩・小金井)

図書館では、資料の探し方や、図書館で契約している各種オンライン・データベースによる情報収集方法が習得できるよう、実習を中心とした内容のガイダンスを準備しています。

演習・ゼミでの発表やレポート・卒業論文の材料に使うコンテンツを扱う「情報リテラシー能力(情報収集・評価・分析・活用・発信能力)」を学生が身につけることを目的としています。

- 1 **対象:**学生
1年生向けには、レポート作成時などに図書館を積極的に活用するためのメニューとなっています。
2年生以上対象のガイダンスは、事前に担当教員と打合せし、ゼミや研究室の研究内容に即した内容で実施します。

2 **実施時間帯:**授業期間内の任意の時限

3 **実施場所:**市ケ谷・多摩: 図書館内ガイダンスルーム
小金井: 教室、研究室

- 4 **申込方法:**
各図書館レファレンスカウンターもしくは以下問い合せ先へご連絡ください。
市ケ谷: 03-3264-9528 libi@hosei.ac.jp
多摩: 042-783-2275 libt@hosei.ac.jp
小金井: 042-387-6064 keturan@hosei.ac.jp
※下記URLにも申込フォームがあります。
<http://www.hosei.ac.jp/library/shien/guidance/index.html>

5 **申込締切期日:**
実施予定日の2週間以上前

- 6 **その他:**
・専門ゼミガイダンスは、2時限連続でも実施可能です。



産学連携3D教育プロジェクト主催 「授業の代講を引き受けます！」

(市ケ谷・多摩・小金井)

やむを得ない事情で休講となる場合、プロジェクト教員が「働く力を理解するDVD教材」を使って、授業を代講いたします。学生にDVD教材をみせた後にディスカッションやグループワークをさせることで、働く場面を実感させ、社会で必要な働く力を理解させる提案を行い、大学の勉強が「社会で役に立つ」ということを伝えます。

※開講される曜日時限によっては、対応できかねる場合がありますので、予めご了承ください。

- 1 **対象:**学生
- 2 **実施時間帯:**開講されている曜日時限
- 3 **実施場所:**開講されている教室
- 4 **申込:**プロジェクト教員の予定調整が必要となりますので、お早めにお申し込みください。
学務部 教育支援課 03-3264-9520 3dep@ml.hosei.ac.jp

- 5 **ビデオ教材:**
- シリーズ1「ハタラクチカラ(社会人1年目の現場)」
 - シリーズ2「営業部物語」
 - シリーズ3「ツナゲルチカラ(社会人2年目の現場)」
 - シリーズ4「海を越える“夢”(グローバルビジョンを持つために)」
 - シリーズ5「ヤリヌクチカラ ~中小企業のやり甲斐~」
 - シリーズ6「百貨店物語~販売とは物を売る仕事ではない~」

